

# 東海医学会講演会のご案内

演題：マウスモデルを用いた胚着床機構の解析

演者：藍川 志津 先生

東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 特任研究員

司会：松前 ひろみ (分子生命科学)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

近年、高度生殖医療の需要はますます高まり、現在では全出生児の14人に1人が体外受精児である。良好な胚(受精卵)の選別法が発展を見せる一方、どんなに胚移植を行っても妊娠が成立しない着床障害が問題となっている。倫理的観点から、着床を含めた妊娠過程の解析をヒトで行うことは困難であり、着床の制御機構については未だブラックボックスのままである。

本発表者はこうした背景に強い関心を持ち、ヒトと子宮内膜組織構造や着床のステップが類似したマウスを用いて解析を行ってきた。本発表では、進化的な観点も取り入れながら、着床研究に関する最新の知見を報告する。

2023年1月30日 (月)

14:45～15:30

1号館5階 5FC教室